

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	老年看護学実習 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限		教室名	施設・病院
担 当 教 員	吉村 麻衣子	実務経験とその関連資格	協和会病院、大和病院で計5年勤務 看護師		
《授業科目における学習内容》					
高齢者福祉施設・病院で生活する老年期にある対象を理解する					
《成績評価の方法と基準》					
実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
事前学習、課題学習を行う。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。					
<b>実習プログラム</b>					
実習期間 時間数	2022年1月11日～2022年1月21日 合計90時間				
実習の目的	<p>&lt;施設&gt; 施設で生活する対象の生活環境を説明することができる。 加齢に伴う変化をふまえ、健康を維持しながら生活する対象の特徴を説明することができる。 施設で生活する対象の生活機能に合わせた日常生活援助を指導者と共に実施できる。</p> <p>&lt;病院&gt; 高齢者の加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化を説明することができる。 高齢者の健康障がいの特徴を考え安全な日常生活援助を実施できる。 高齢者に関わる多職種との連携を知り看護師の役割を理解する。</p>				
実習の内容	<p>&lt;施設&gt; 1)施設の役割と機能について知る。 2)施設で働く多職種の役割を知る。 3)安全性・快適性のある環境について考える。 4)老年期の特徴を知る。 5)加齢に伴う変化が生活にどのように影響しているか考える。 6)今まで生きてきた背景を考え生活する人として理解する。 7)対象の日常生活援助を考える。 8)対象の自立性を重視し、対象が望む生活について考える。 9)対象の安全・安楽に配慮した日常生活の援助を考える。 10)見学・実施した援助を振り返る。 11)対象を尊重した態度がとれる。</p> <p>&lt;病院&gt; 1)対象の発達段階・発達課題を知る。 2)対象の生活歴・健康歴の情報収集をする。 3)対象の加齢に伴う変化、疾病、障がいが生活にどのように影響するか考える。 4)対象の健康状態について理解する。 5)対象の情報を収集し対象に必要な日常生活援助を安全・安楽をふまえ計画・立案・実施・評価する。 6)施設・病院における看護師の役割を知る。 7)多職種の役割、連携について知る。</p>				